

市の将来都市像  
多摩丘陵にはばたく  
市民文化都市

第1311号

発行・町田市 編集・企画部広報広聴課  
〒194-8520 東京都町田市中町1-20-23  
市役所の代表電話042・722・3111  
発行日・毎月3回1の日(1日、11日、21日)  
ホームページ <http://www.city.machida.tokyo.jp>



モデル32人が自前の衣装を披露しました

## ワンダフルエイジ ファッションショー が開催

「高齢者とともに明るくさわやかな大人のまちなをアトール」をテーマに、11月27日、60歳以上の方による第2回「ワンダフルエイジファッションショー」が、ば・る・るプラザ町田で午後1時と3時の2回公演で開催されました。

このショーは、町田市みどりクラブ連合会を初めとする市内14の各種団体が実行委員会を結成して行われたもので、パート1がカジユアル(普段着)部門、パート2がタウンエレガンス部門で、立ち見も含めて160人の観客が見つめる中、書類選考面接を経て、応募70人の中から選考された32人のモデルが、さうと登場し、それぞれ自前の衣装を披露。大きな拍手が起きていました。

91歳の最高齢で出演した吉田修二さんは「みどりクラブの鶴川支部の推薦で参加しました。出演するからには愉快地楽しく」と思い、年寄りの元気をさせるショー、私自身を見せるショーと思つてやりました」と話していました。

町田市では現在、65歳以上の高齢者が人口に占める割合は15・0%。今後も高齢化が急速に進むことが予想されています。高齢者が生きがいを持っていきいきと暮らし、社会参加する機会がますます重要になっていることから、この催しの成功は、今後の大きな弾みとなるでしょう。

## 町田市学長懇談会を 開催しました 11月22日

市と市内の大学、短期大学が協力してまちづくりを考える「町田市学長懇談会」が11月22日、サン町田旭体育館で開催されました。この懇談会は1995年5月に設置され、今回で4回目。寺田市長、牧田、高山両助役、山田教育長をはじめ、市内の大学・短期大学長や副学長などが一堂に会し、「行政と大学、短期大学の連携」をテーマに、最近の大学、短期大学の取り組みについて情報交換が行われました。また、今回は、町田市の地域住民と交流があり、つくし野に隣接して位置する横浜市の東京工業大学も出席しました。



市と市内の大学、短期大学が一堂に会し、情報交換を行いました

## テーマは行政と 大学・短期大学の 連携

市内には現在、桜美林、国士舘、昭和薬科、玉川、東京家政学院、法政、和光の7大学と桜美林、国士舘、東京服飾造形、玉川学園女子、鶴川女子、東京女子大学の6短大があり、約3万4000人の学生とこれを支える教職員が教育研究活動を展開しています。

今回の懇談会では、ネイティブ英語教師と地域の小学校との遊びを通じた交流や、地域住民への大図書館などの学校開放、市民向け公開講座の状況、新学部の創設

## 町田市家庭福祉員制度が スタートします

この制度は、認可保育園に入園を申し込んで待機している0歳から3歳未満のお子さんを、町田市が認定した有資格(保育士、教員、助産婦、保健婦、看護婦)で保育経験を持つ家庭福祉員が毎日11時間程度自宅を開放し、お預かりするものです。

1人から3人のお子さんを、細心の注意と衛生面の配慮が行き届いた、ゆったりとした家庭的な雰囲気の中で、保護者の方に代って保育します。

保育料は月額4万2000円、食事実費及び8時間を超過した場合は、その時間分の延長保育料は別途お支払いいただきます。事業の開始は鶴川地区、旭町地区が2002年1月4日から、成瀬地区が同2月1日からです。

市では今後、入園待機機の状態を見ながら、この制度を全市に拡大していく予定です。

なお、今回の募集等詳細については児童福祉課子育て相談係(☎724・2137)へお問い合わせ下さい。

予定など大学・短期大学の取り組みが紹介されました。また、留学生の住居をはじめとする生活面の支援、通学するうえでの交通アクセスの改善、こみの取り扱いを含めた学生のマナーなどが今後の課題として挙げられました。

市では今後、懇談会で提起された課題等について専門部会を設けて研究を行い、市と大学・短期大学の連携を一層深めていくことにしています。

## 太陽と緑のまつり・農業祭 2万人の人出で盛況



ハクサイ、ダイコン等新鮮な野菜が提供されました

地元町田でとれた野菜や植木の品評会、直売を行う第28回「太陽と緑のまつり・農業祭」が今年も11月24日、25日に野津田公園で行

24日の農産物品評会では、ハクサイ、ダイコン、キャベツなどの野菜の部、ツゲ、モッコク、バラシクラメンなどの植木の部の審査が行われ、野菜の部では図師町の鎌田勝さんが出品したカブが、植木の部では本町田の大沢隆さんが出品した金芽ツゲが最優秀賞に輝きました。

25日は地元生産者による新鮮な野菜、シイタケや植木の直売が行われ、売れ行きも上々。また、野菜大八車や野菜みこし、米作り親子体験農業事業の展示や、よさこい踊り、和太鼓、プラスチックの演奏のほか、ミニSLや子どもアスレチックなどの催しも行われ、晴天のもと、親子連れも2万人の人出でにぎわいました。